

# 銭形通信

Vol.25

新春号



## 謹んで新年の お慶びを申し上げます

旧年中は一方ならぬご高配をいただき  
誠にありがとうございました。

本年、弊社は創業二十周年を迎えます。

これもひとえに皆様のご愛顧のたまものと

心より感謝いたしますとともに、これからも皆様より  
ご支持いただける事業者であり続けられるよう努力を  
重ねて参る所存ですので、今後も何とぞ宜しくお願  
い申し上げます。

本年が皆様にとりまして佳き一年となりますことを  
心よりお祈りいたします。



平成二十七年 未年元旦

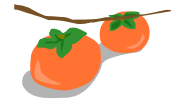
  
20<sup>th</sup>  
Anniversary

株式会社銭形企画

代表取締役 上野 初子

# Activity Report

## ぜにがた旅行 in 下呂温泉



12月9日・10日、銭形企画では、年末の恒例イベント『ぜにがた旅行』に行ってきました。今年の旅先は岐阜県飛騨地方の下呂温泉です。待ちに待った一泊旅行ということで参加者のみなさんは朝からウキウキです。デイサービス和（なごみ）を出発し、マイクロバスを走らせること約4時間。一行は今回の宿泊地下呂温泉水明館に到着しました。下呂温泉は、有馬温泉、草津温泉と並んで「日本三名泉」に数えられる名湯。旅館のすぐ側には鮎漁で有名な飛騨川が清らかな水を湛え、窓の向こうには雪をかぶった飛騨の山々が連なっており、冬の旅ならではの情景が広がっていました。

部屋で一息ついた後は早速温泉へ。泉質は透明ながらヌルヌルしていて肌に染み込んでいく感じがとても気持ちよく、湯上りのみなさんは何歳か若返ったような肌つやをされていました（笑）。

窓の外が真っ暗になった午後6時、いよいよ宴会がスタートしました。飛騨のごちそうと言えば、朴葉味噌、川魚、赤蕪漬け・・・かと思いきや、やはりそこは温泉旅館。海の幸山の幸が卓上にドーンと並びました。メインディッシュは名物「飛騨牛の朴葉味噌焼き」。白飯が進むこと間違いなしの美味しさでした。

お酒も入り、みなさんお得意のカラオケがスタート。デイサービスでもお馴染みの十八番が次々リクエストされ、手拍子や掛け声が飛び交います。日頃は聴けないおしどり夫婦のデュエットもあり、会場は和やかムード一色となりました。

宴もたけなわ、お開き前のシメの余興はこれもお馴染み、スタッフによる宴会芸です。上演中の写真がなくお見せできないのが甚だ残念ですが、写真の白塗りの顔を見れば大体は察しがつきますよね。今年の流行語大賞にもなった「ダメよ〜。ダメダメ！」です。写真からもかなり危ない感じが伝わるとお思いますので、その場の光景は読者の想像にお任せします。

気づけばもう午後9時。明日も出発は早いということで宴会は大盛り上がりの中にお開きとなりました。



旅行2日目。朝9時45分、旅館の人たちに見送られ、参加者を乗せたバスは下呂温泉の観光地『合掌村へ』。ここには飛騨地方の豪雪地帯に特有の建築技法である合掌造りの家々が移築保存されており、まるでいにしへの時代にタイムスリップしたような風景が広がっています。当日は穏やかな冬晴れでしたが、それでも朝の気温はマイナス2℃。路肩の残雪が雪国ならではの情趣を醸し出していました。合掌造りの荘厳な佇まいには、山あいの農村出身者の方はもちろん、馴染のない私たちまでが何処となく懐かしさを覚えてしまう不思議さがありました。日本の原風景ってやっぱりいいですね。

冬の寒さがからだに凍みた後、一行は『ドライブイン飛山』というところで昼食（飛騨牛うどんが美味しかった。）をいただきました。帰りの出発時刻が迫っているというのに、みなさんはまだお土産売場が気になるご様子です。食事もそこそこに超特急で最後の買い物を済ませ、にんまり顔でバスに乗り込みました。

今回の旅行は、遠方のわりには行程に余裕があり、ゆったり楽しんでいただけたのではないのでしょうか。次回もぜひ元気に参加していただければと思います。



## Information

# 新春餅つき大会@なごみのごあんない

来たる1月15日（木）～21日（水）、デイサービス和（なごみ）では新春恒例の『餅つき大会』を開催します。また、最終日はお馴染みの『なごみ喫茶』にて、つきたてのお餅をご提供します。

どなたでもご来館いただけますので、ぜひお立ち寄りください。



## なごみ喫茶 With 新春餅つき大会

日時： 1月21日（水） 午後1：45 Open  
場所： 銭形企画 デイサービス和（なごみ）  
料金： お菓子とお飲み物で¥100です。

# 祝 勤続5年 当社 高田暁仁君 京都市から表彰状



昨年の11月12日に開催された「第21回障害のある市民の雇用フォーラム」(京都市・京都市教育委員会共催)にて、銭形企画総務部の高田暁仁君が、当社における勤続5年の功労に対する表彰を受けました。平成21年3月に京都市西総合支援学校高等部を卒業し、当社に就職した高田君は、その卓越したパソコン技能と持ち前の頭の回転の速さを買われ経理業務に着任。気がつけば既に入社6年目、今では総務全般にわたって手腕を発揮し銭形企画には欠かせない人材となっています。

今回の荣誉について高田君は、「あっという間の5年間でした。入社当初はこんなにも続けられるとは思っていませんでしたが、自分の今があるのは会社のみなさんの支えがあったからこそ。」と彼らしい謙虚なコメントを話してくれました。

高田君と一緒に歩んできたこの5年間は、当社にとっても激動の5年間でした。彼の働きがあったからこそ今の銭形企画がある。高田君に対しては職員みんながそんな感謝の気持ちを抱いていると思います。本当におめでとう。これからもよろしくね!

## Column

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく申し上げます。

さて、昨年も銭形企画では色々な出来事がありました。1月、ホームヘルプ事業部とケアマネジメント事業部は、年末ぎりぎりまでかかった改修工事を終えたピカピカの事務所で新年の仕事をスタートさせました。2月には計画相談支援(障害者ケアマネジメント)事業を開始しました。3月には会社の名称を有限会社銭形企画から「株式会社銭形企画」に変更し、少し誇らしげな気持ちで新年度を迎えることとなりました。これに合わせ、会社のロゴマークも一新しました。

春は職員を新たに採用し各部門の人員体制の強化を図りました。夏は酷暑と台風に悩まされ、ヘルパーの顔は例年のごとく真っ黒に日焼けしました。七夕に開催した全社イベント『ぜにがたま祭り』は例年にも増して大盛況で、私も数年ぶりにみなさんの前で踊りました。

心地よい秋の季節は忙殺の中ですぐに過ぎ去り冬がやって来ました。年の瀬を迎え一年の仕事を振り返ってみると、たくさんの新しいご利用者様との出会いがあったことに改めて気づき、様々な人生との関わりを想い胸が熱くなりました。その中には悲しい別れも多くありました。

銭形企画は今年で創業20周年を迎えます。これまでの会社の歴史はご利用者様との出会いの歴史そのものです。これからも新しい出会いを積み重ねながら、時代の要請に応える事業者として歩み続けたいと考えています。

(執筆: 上原 啓輔)

### 『銭形通信 Vol.25 新春号』

発行元: (株) 銭形企画 〒600-8357 京都市下京区黒門通五条下る柿本町 594 番地 33

T E L: 075-353-4880 (代) F A X: 075-353-4891 E-mail: mail@zenigata-kikaku.jp

編集: 上原 啓輔 (うへはら けいすけ) 高田 暁仁 (たかだ あきひと)

「銭形通信」は、(株) 銭形企画の情報公表の一環としてご利用様ならびに関係機関のみなさまにお渡ししております。